

# イヤホン巻取 AM・FMラジオ

## 取扱い上のご注意

### 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

図記号の説明	⊘記号は、禁止の行為であることを示しています。 ⊘の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示を示しています。 ●の中に具体的な禁止内容が描かれています。

### 警告 死亡または重傷を負う事が想定される危害の程度を示しています。

- 分解禁止** 分解・改造・部品の変更・修理はしない。  
火災・感電・故障の原因となります。
- 禁止** 落としたり強い衝撃を与えない。また、イヤホンを持って、本体を振り回さない。  
けが・故障の原因となります。
- 禁止** 乗り物の運転中はイヤホンの使用や本体の操作はしない。  
また、歩行中に音声を聴く場合は、周囲の交通に十分注意する。  
交通事故などの原因となります。

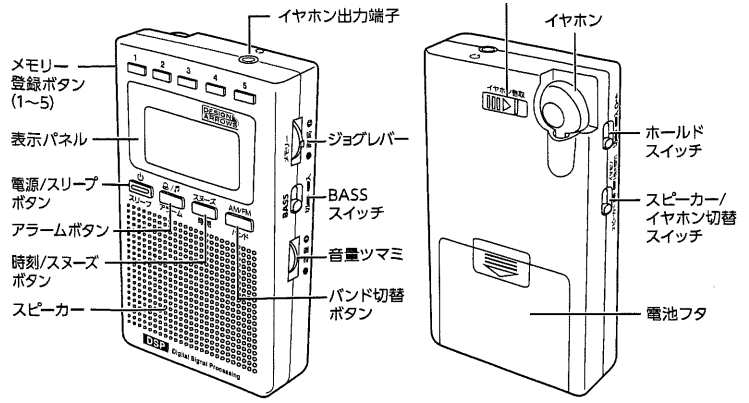
### 注意 損害を負うことが想定されるが、物的損害の発生が想定される危害損害の程度を示しています。

- 次のような場所では使用・保管しない。  
火災・感電・けが・故障の原因となります。  
・水がかかったり湿気が多い場所 ・雨・きりなどが直接入り込むような場所  
・直射日光の当たる場所や炎天下の車内、ストーブ、器具のそばなど異常に高温になる場所  
・ホコリ、油煙の多い場所 ・ぐらつく台や傾いた場所など、不安定なところ ・腐食性ガス  
(亜硫酸ガス・硫化水素・塩素ガス・アンモニアなど)が発生する場所 ・極端に高温・低温、温度変化の激しい場所 ・乳幼児、小さな子どもやペットなどが触れる可能性のある場所
- 禁止** 大音量にしない。  
周囲の迷惑になります。また大きな音を聞き続けると、聴力に悪影響を与える可能性があります。
- 強制** 付属のイヤホンを使用中、肌に異常を感じた場合はすぐに使用を中止する。
- 禁止** 磁気を利用したカード類(キャッシュカードなど)をスピーカーに近づけないでください。  
スピーカーの磁気の影響でカードが使えなくなることがあります。
- 乾電池を使用するときは次のことを守る。  
乾電池の破裂・液漏れ・発熱による火災やけが、周囲への汚損の原因となります。  
・指定以外の乾電池は使用しない ・極性表示⊕と⊖は正しく入れる ・充電・加熱・分解・ショートさせたり火の中に投入しない ・乾電池に記載されている使用推奨期限を超えたものは使用しない ・種類の違う乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない  
・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない ・乳幼児、小さな子どもやペットの手の届かないところに保管する ・使用済みの乾電池は各地方自治体の廃棄区分に従う  
・長期間(1ヶ月以上)使用しないときは必ず乾電池を取り外す。  
液漏れし、皮膚や衣類に液が付着したときは水でよく洗い流し、医師にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目はこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、ただちに医師に相談してください。

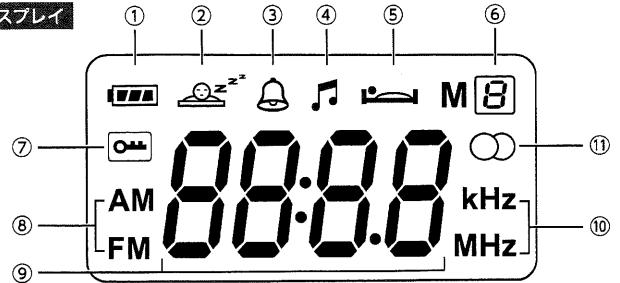
### 仕様

- 受信周波数域: AM 522~1629kHz/9kHzステップ  
FM 76~95MHz/100kHzステップ
- スピーカー: φ40mm
- 出力端子: φ3.5mm ステレオミニジャック
- 最大出力: 200mW
- 電源: 単4形アルカリ乾電池×3本(別売)
- 本体寸法: 約(W) 62×(H) 104×(D) 22mm(突起物除く)
- 質量: 約78g(乾電池除く)
- 連続使用時間: スピーカー時 AM 約20時間  
(JEITE規格測定値) FM 約20時間  
イヤホン時 AM 約30時間  
FM 約30時間
- 使用环境温度: 5~35℃ ※結露などは避けてください
- ※連続使用時間は目安であり、使用状況や電池種類により異なります。
- ※仕様および外觀などは改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ※充電電池(1.2V)、マンガン乾電池では使用可能時間が短くなったり、仕様通りの性能で動作できなくなります。

### 各部名称



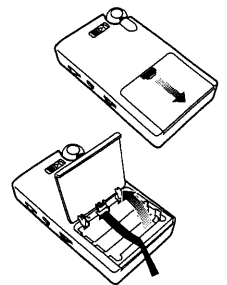
### ディスプレイ



- ①電池残量表示  
残量僅少時は点滅
- ②スヌーズ表示  
スヌーズ動作中に点滅  
アラーム動作中は消灯
- ③アラーム(ビーブ音)表示  
ビーブ音によるアラームを設定時に表示  
動作中は点滅
- ④アラーム(ラジオ音)表示  
ラジオによるアラームを設定時に表示  
動作中は点滅
- ⑤スリーブ表示  
スリーブ設定時に表示
- ⑥メモリー選局表示  
メモリー登録した放送局を受信中に登録番号を表示
- ⑦メモリー表示  
メモリー機能ON時に表示
- ⑧受信バンド表示  
AMまたはFMを表示  
時刻が午前の場合はAMにて時刻表示
- ⑨時刻/周波数表示
- ⑩周波数単位
- ⑪FMステレオ放送受信表示  
※ステレオイヤホン(別売)を使用中に、FMステレオ受信時に表示

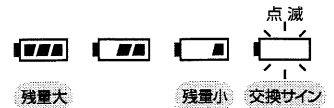
### 乾電池の入れかた

1. 電池ふたを矢印の方向へスライドさせて上に開けます。
2. 単4形アルカリ乾電池×3本(別売)を⊕⊖表示通り正しくセットし、電池ふたを元通り確実に閉めてください。  
※取り外しリボンを下にして乾電池を入れてください。
3. 電池ふたを元通りしっかりとしめてください。



### 乾電池の交換時期

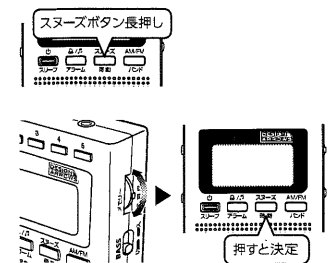
- 乾電池の残量表示が点滅した場合は、残量がほとんどありません。新しい乾電池と交換してください。  
※交換は1分以内に行ってください。交換に時間がかかると時刻やプリセットの設定が失われる場合がありますので、その際は最初から設定をやり直してください。



### 時刻の設定

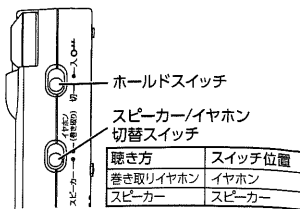
はじめて乾電池を入れたときや、乾電池の交換などで設定がリセットされたときには時刻合わせを行ってください。また、リセットされていない場合でも定期的に時刻合わせを行ってください。※電源を切った状態で行ってください。

1. 電源が入っていない状態で、時刻/スヌーズボタンを長押しします。
  2. 『時』表示が点滅している間に、ジョグレバーを上(または下)に動かして時間を選び、時刻/スヌーズボタンを押します。
  3. 『分』表示が点滅している間に、ジョグレバーを上(または下)に動かして分を選び、時刻/スヌーズボタンをおします。(点滅が点灯に変わり、時刻が確定します。)
- ※午前の時刻表示の時には、ディスプレイにAMが表示されます。(午後の時刻表示の時には、表示されません。)



## ラジオを聴く

1. ホールドスイッチが切になっていることを確認し、スピーカー/イヤホン切替スイッチの設定をします。
2. イヤホンとイヤホンコードの接合部を持ちながらゆっくりとイヤホンコードを引き出します。



- イヤホン本体を持って引っ張らないでください。断線、故障の原因になります。
- イヤホンコードはゆっくりと引き出し、最後まで引き出して止まったら、無理に引っ張らないでください。故障の原因になります。

※FM放送の場合は、イヤホンコードがアンテナの機能を兼用しているため、感度を良くするために出来るだけ長く引き出してください。

※左右の指定はありませんので、イヤホンは聞きやすいほうの耳に装着してください。

3. 電源ボタンを押します。



- 電源を入れる際は、音量を低く設定してください。突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を与えることがあります。

4. バンド切替ボタンでAMまたはFMを選びます。
5. ジョグレバーを上または下に動かし、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

※ジョグレバーを押し上げると、周波数が順に送られ、押し下げると逆順で送られます。

※ジョグレバーを押し上げたまま(または押し下げた)

ままにすると、連続で周波数が送られますので、素早く選曲することができます。

※AM放送の場合、9kHz単位で下し、FM放送の場合100kHz単位で下しします。

6. 音量ツマミを使って音量を適切に調節します。

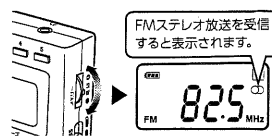
7. ラジオを切る際は、電源ボタンをおします。電源を切ると時刻表示に戻ります。

8. イヤホンとイヤホンコードの接合部を持ちながら、巻取ツマミをスライドさせて巻き取り、イヤホンコードを元の位置に収納します。

※途中でイヤホンコードが止まってしまった時は、コードを10cmほど引き出して、もう一度巻き取りツマミをスライドさせてください。

※イヤホン収納時にはイヤホンを耳に装着したまま巻取ツマミを操作しないでください。

※イヤホンに手を添えないで巻取ツマミを操作しないでください。ケガをしたり、機器が故障する原因になることがあります。



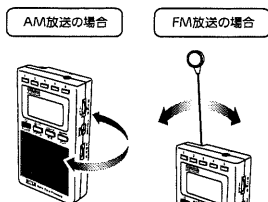
## ■よりクリアな放送を楽しむために

### ●AM放送の場合

AMアンテナはラジオ内に内蔵されているのでラジオの向きをかえてみてください。

### ●FM放送の場合

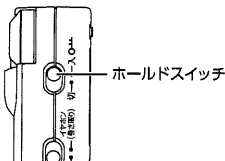
イヤホンコードをできるだけ伸ばして最もよく聞こえる方向に動かしてください。(イヤホンコードがアンテナを兼用しています。)



## ■ホールド機能について

- ホールドスイッチを入にすると、ボタン操作ができなくなります。鞆の中に入れて持ち運ぶときなど、誤作動を防止したいときにお使いください。

※アラーム動作時はホールド機能の設定に関係なく、スヌーズ、停止のボタンを操作できます。



## ■メモリー登録(よくお聴きになるラジオ放送局を登録する)

1. メモリー登録したい放送局を受信している状態でジョグレバーを押し込みます。
2. ディスプレイに登録するメモリー番号が点滅するのでジョグレバーで登録したい番号を選び、再度ジョグレバーを押し込みます。

※メモリー登録した放送局は、メモリー登録ボタンを押すことで選曲できます。

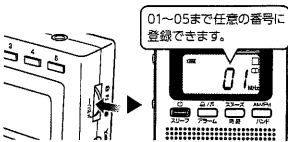
※AM5局、FM5局を登録できます。

※メモリー登録した放送局を受信中は、ディスプレイの右上に「M」及「登録番号」が表示されます。

ただし、ジョグレバーで手動受信した場合は表示されません。

※各メモリーボタンにはあらかじめ以下の周波数が登録されています。

※約5秒間何も操作しない状態が続くと設定操作が解除されます。その場合は最初からやりなおしてください。

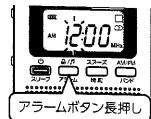


## スリープ機能

1. ラジオの電源を入れて、お聴きになりたい放送を選択します。
  2. 電源/スリープボタンを約3秒間長押しします。
  3. ディスプレイにスリープアイコンが表示され、「90」が点滅するので、さらに電源/スリープボタンをくり返し押し、電源が切れるまでの時間を選びます。
- ※90分~10分まで10分刻みで設定できます。
- ※ステップ2の後、そのまま何もしなくてもスリープ機能が設定され(スリープアイコンが表示)、通常の受信になります。
- ※スリープの設定後、ラジオを聴いている時に電源/スリープボタンを長押しすると、残り時間が約5秒間表示されます。
- ※スリープ設定を解除するには、電源/スリープボタンを短く押し電源を切ってください。

## アラーム機能

アラーム設定は、アラーム時刻を設定するステップと、アラームの起動を設定するステップの2つに分かれています。一度アラーム時刻を設定しておけば、あとは起動の設定のみで、毎日同じ時刻にアラームを起動させることができます。



### ■アラーム時刻を設定する

1. 電源が入っていない状態で、アラームボタンを長押しします。
2. 「時」表示が点滅している間に、ジョグレバーを上(または下)に動かして時間を選び、アラームボタンをおします。
3. 「分」表示が点滅している間に、ジョグレバーを上(または下)に動かして分を選び、アラームボタンをおします。(点滅が点灯に変わり、アラーム時刻が確定します)

### ■アラームの起動を設定する

1. スピーカー/イヤホン切替スイッチをスピーカーにセットします。
2. アラームボタンを2回押します(1回押した時は設定されているアラーム時刻が表示され、2回目に起動を設定するモードになります。)
3. ディスプレイにアラーム(ビープ音)が表示され、アラームの起動設定がオンになります。ラジオ放送での起動を設定したい場合はもう一度アラームボタンを押してください。ディスプレイのアイコンがアラーム(ラジオ)に変わります。



- 約5秒何も操作しない状態が続くと設定操作が解除されます。その場合は最初からやり直してください。

### ■アラーム起動時の操作

- 起動したビープ音またはラジオ音声を止めるには、電源/スリープボタンをおします。

- 起動時に時刻/スヌーズボタンを押すと、一度ビープ音またはラジオ音声は止まり、5分後に再び起動します。

- ビープ音またはラジオ音声による起動を1時間放置すると、アラームが解除されます。

※設定したアラーム時刻を確認するには、アラームボタンを短く1回押してください。約5秒間表示されます。

※アラームの起動設定を解除するには、ディスプレイのアラームマークが消えるまで、アラームボタンを押してください。(アラーム時刻の設定は保持されます)

※アラーム(ラジオ)を設定し、アラーム時刻にラジオを聴いていた場合、アラーム音声は自動的にビープ音に切り換わります。(ラジオ音声はそのまま続きます)

※ビープ音を設定した場合、アラームが起動すると音量が少しずつ大きくなります。

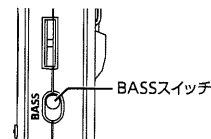
※ラジオを設定する場合は、あらかじめ起動時に受信したい放送局を選んだ後、起動設定を行ってください。

※ラジオを設定する場合、お好みの音量を設定してください。最小にした場合は音声が流れません。

- ラジオを設定する場合、お好みの音量を設定してください。音量を最小にした場合は、音声が流れませんのでご注意ください。

## BASS (低音強調)

イヤホンまたはヘッドホンジャックでラジオを聴いている時にBASSスイッチを入にすると、ラジオ音声の低音部が強調されます。



## ■外部イヤホンで聴く場合

イヤホン出力端子に、市販の3.5mmステレオミニプラグのイヤホンを接続します。FMステレオ放送はステレオ音声で楽しむことができます。

※ヘッドホン接続した場合は内蔵イヤホンやスピーカーからは音声が出力されません。

※ヘッドホンが接続されている時は、スピーカー/イヤホン切替スイッチが無効になり、ヘッドホンジャックからの接続が優先されます。

## ■リセット方法(正常に操作が出来なくなった場合)

電源が入っている状態で電池フタを開け、長いピンなどを使って、穴部の奥にあるリセットボタンを1回押してください。本気がリセットされ正常な状態に戻すことができます。

※メモリー登録や時刻(アラーム設定時刻を含む)はリセットボタンを押しても消去されません。

※リセットボタンは強く押しすぎないでください。

故障の原因になります。

